

災 害 状 況 明 細 書												
加 入 者 等 記 号 ・ 番 号						加 入 者 氏 名	被扶養者の有無	被扶養者有の場合は 同 居 ・ 別 居 の 別				
県コード	学種	学 校 番 号		個 人 番 号						枝番		
						0 0		有 ・ 無	同 居 ・ 別 居			
住	加入者の住居	1	自 宅	総 面 積		m ²	家屋の時価	円				
		2	借 家	被 害 面 積		m ²	家屋の損害額	円				
		3	借 間	構 造		木 造 鉄 骨 その他 ()	形 態	平 屋 二階建 集合住宅 (居住階数 階)				
		4	そ の 他 ()									
		別居被扶養者の住居	1	自 宅	総 面 積		m ²	家屋の時価	円			
			2	借 家	被 害 面 積		m ²	家屋の損害額	円			
	3		借 間	構 造		木 造 鉄 骨 その他 ()	形 態	平 屋 二階建 集合住宅 (居住階数 階)				
	4		そ の 他 ()									
	居		災 害 の 原 因					災 害 の 状 況				
			加入者の住居平面図	(各部屋の面積又は畳数も記入し、被災箇所を赤線等で明示すること。)								
	部	別居被扶養者の住居平面図	(各部屋の面積又は畳数も記入し、被災箇所を赤線等で明示すること。)									
		住所 〒 _____ 被扶養者の氏名 _____ 加入者との続柄 _____										

家 財 の 部	品名	総数量	時価	被害数量	損害額	備考（全焼・半焼・補修等の説明）			
			円		円				
	計		円		円				
浸水状況	床上浸水	土砂流入の程度		床上浸水期間		最高水位を示した日			
	cm	cm	日間	時間	5 令	年	月	日	
上記のとおり事実と相違ないことを報告します。 令和 年 月 日 (フリガナ) 加入者氏名									
上記の報告は、事実と相違ないものと認めます。 令和 年 月 日 学校法人等名 代表者名									

記入上の注意

1 被扶養者が別居している場合は、加入者及び被扶養者の住居・家財をそれぞれ別々に評価してください。

2 時価は購入価格ではなく、損害を受ける直前の現在価格を記入してください。

3 家財は損害を受けなかったものもすべて記入してください。

4 加入者及び被扶養者が所有している家財が対象となります。なお、加入者が被扶養者以外の者と所有している家財があれば、備考欄にその旨を記入してください。

災害状況明細書

この明細書は災害見舞金の請求をするときに添付するものです。

住居の部（左面）

- 記入上の注意
- 住居とは、所有権の有無にかかわらず加入者が日常生活を行っている建物をいいます。（別棟の離れ屋、物置、門、塀等は含まれません。）
 - 災害を受けた住居・家財がその後使用可能となった場合は損害に含みません。
 - 住居・家財の修理費用は損害には含みません。

日本私立学校振興・共済事業団

共済運営規則様式第十四号（第二十一条・第二十三条関係）

災 害 状 況 明 細 書										
加入者等記号・番号					加入者氏名	被扶養者の有無	被扶養者有の場合は同居・別居の別			
県コード	学種	学校番号	個人番号	校番			同居	別居		
13	A	9999	9999	9900	私学 太郎	①・無	同居・別居			
住居の部	加入者の住居	① 自宅	総面積	109.0㎡		家屋の時価	10,000,000円			
		2 借家	被害面積	54.5㎡		家屋の損害額	5,000,000円			
		3 借間	構造	木造		形態	平屋			
		4 その他		鉄骨			二階建			
							集合住宅（居住階数 階）			
	別居被扶養者の住居	1 自宅	総面積	㎡		家屋の時価	円			
		2 借家	被害面積	㎡		家屋の損害額	円			
		3 借間	構造	木造		形態	平屋			
		4 その他		鉄骨			二階建			
							集合住宅（居住階数 階）			
	災害の原因		令和〇〇年〇〇豪雨			令和〇年9月10日の豪雨及び河川氾濫により、家屋が床上浸水（120cm）した。また、浸水により一階にある家具や家電製品が損害を受けた。				
	加入者の住居平面図		(各部屋の面積又は畳数も記入し、被災箇所を赤線等で明示すること。)							
別居被扶養者の住居平面図		1階 豪雨と河川の氾濫により、1階120cmまで浸水した。リビングや和室等の窓が土砂の流入により破損した。								
		2階 								
		(各部屋の面積又は畳数も記入し、被災箇所を赤線等で明示すること。)								
		住所 〒 被扶養者の氏名 加入者との続柄								

被扶養者が別居している場合は、加入者及び別居の被扶養者それぞれの住居・家財を合算したものの対する損害になりますので、洩れなく記入してください。

私学事業団で認定されている被扶養者の有無を記入してください。

修理費用ではなく、上記家屋の時価に占める損害部分に相当する金額を記入してください。

具体的に詳しく（風害・水害・地震の場合は損害の程度が判別しにくいいため、より詳しく）記入してください。記入しきれない場合は別紙（用紙自由）に記入して添付してください。

風害などの場合、洩れた部分を除き壊れた部分のみ斜線（朱記）で示してください。

家財の部（右面）

- 記入上の注意
- 1. 損害を受けなかった家財(品物)についても必ず記入してください。(すべての家財)
 - 2. 時価は購入価格ではなく、損害を受ける直前の現在価格で記入してください。
 - 3. 加入者及び被扶養者が所持している家財が対象となります。
 - 4. 品目が多くて記入しきれないときは、別紙(用紙自由)に記入して添付してください。

家財の部	品名	総数量	時価	被害数量	損害額	備考(全焼・半焼・補修等の説明)
			円		円	
	応接セット	1	250,000	1	250,000	水損(修理不能)
	エアコン	5	550,000	2	300,000	水損(修理不能)
	タンス	3	300,000	1	100,000	水損(修理不能)
	洋服	150	1,000,000	25	250,000	水損(修理不能)
	机	3	150,000	1	50,000	水損(修理不能)
	テレビ	3	500,000	1	200,000	水損(修理不能)
	ビデオカメラ	2	160,000	1	80,000	水損(修理不能)
	サイドボード	1	120,000	1	120,000	水損(修理不能)
	洗濯機	1	150,000	1	150,000	水損(修理不能)
	パソコン	1	100,000	1	100,000	水損(修理不能)
	掃除機	1	50,000	1	50,000	水損(修理不能)
	冷蔵庫	1	100,000	1	100,000	水損(修理不能)
	電子レンジ	1	50,000	0	0	水損(修理可能)
	食器棚	1	150,000	1	150,000	土砂の流入により破損(修理不能)
	食器一式		80,000		80,000	土砂の流入により破損(修理不能)
	台所用品一式		100,000		100,000	水損(修理不能)
	靴	20	200,000	20	200,000	水損(修理不能)
	仏壇一式		150,000		150,000	水損(修理不能)
バッグ	10	100,000	2	20,000	水損(修理不能)	
ベッド	2	250,000	0	0	損害なし	
学習用品一式		150,000		0	損害なし	
本棚	2	125,000	0	0	損害なし	
本	100	190,000	0	0	損害なし	
電話(スマートフォン)	3	300,000	0	0	損害なし	
時計	3	60,000	0	0	損害なし	
炊飯器	1	10,000	0	0	損害なし	
アイロン	1	10,000	0	0	損害なし	
寝具	3	75,000	0	0	損害なし	
計		5,430,000		2,450,000		
浸水状況	床上浸水	土砂流入の程度	床上浸水期間	最高水位を示した日		
	120 cm	30 cm	2日間 15時間	5 令	年	月
上記のとおり事実と相違ないことを報告します。						
令和〇〇年 9月 18日 (フリガナ) シガク タロウ 加入者氏名 私学 太郎						
上記の報告は、事実と相違ないものと認めます。						
令和〇〇年 9月 20日 学校法人等名 学校法人 湯島大学						
代表者名 理事長 湯島 一郎						

- 記入上の注意
- 1 被扶養者が別居している場合は、加入者及び被扶養者の住居・家財をそれぞれ別々に評価してください。
 - 2 時価は購入価格ではなく、損害を受ける直前の現在価格を記入してください。
 - 3 家財は損害を受けなかったものもすべて記入してください。
 - 4 加入者及び被扶養者が所有している家財が対象となります。なお、加入者が被扶養者以外の者と所有している家財があれば、備考欄にその旨を記入してください。